

令和7年度 学校経営方針

【調布市教育委員会が掲げる教育目標】

- 命の大切さを自覚し、人の尊厳を重んじ、互いのよさや違いを認め合うことのできる力を身に付けた子ども
- 豊かな心、健やかな体を基盤に、確かな学力に基づいた「生きる力」を身に付けた子ども
- 自ら社会貢献しようとする意欲をはぐくみ、社会的に自立するための基礎となる力を身に付けた子ども

〈調布市教育委員会基本方針〉

- 基本方針1 生命をいつくしみ、人の尊厳を重んじる心を育てる
- 基本方針2 「生きる力」を育て、個を伸ばす教育を充実する
- 基本方針3 学校・家庭・地域の役割と責任に基づいた連携を進める
- 基本方針4 安全で安心な調布の教育環境の整備を推進する
- 基本方針5 生涯にわたって自己実現を目指す機会を提供する

〈学校が目指す教育〉 調布市教育委員会が掲げる教育目標を達成するため、多様な関わりを通して、前向きに生きる力を育む教育	〈学校の教育目標〉 ア 自分の考えをもつ子（思考力・判断力・表現力・学びに向かう力の向上）【自己決定力】 イ 思いやりのある子（自他尊重、人権尊重の精神、相互理解の推進）【人間関係形成力】 ウ 体をきたえる子（体力・健康の保持増進）【実践力】
--	--

【目指す学校像】

- 児童が、互いに支え合い、違いを認め合い、できた・分かった・高まったと実感できる学校
- 保護者・地域住民の方々が、安心して子どもを通わせ、参画したいと思える学校
- 教職員が、児童理解に基づき、組織の中で自分の役割を果たしていこうとする学校

〈子どもたちと教職員の共通目標〉 一人一人の命が輝き、笑顔で満たされている学校をつくる

「一人一人の命が輝き、笑顔で満たされている学校をつくる」を実現する教育活動の重点	
① 豊かな心の育成【調布市教育プラン施策1】 ◎特別活動と関連付け、児童の自主的・自治的な活動の促進（人の役に立つ喜びを実感できる） ◆`命、を大切にする教育の連携 人権教育、道徳教育、多様な関わり、幼保小連携、小中連携、体験的活動、対話の工夫（学校運営連絡協議会、道徳地区公開講座、保護者会、等） ◆いじめの未然防止と対応 多摩川スタンダードの見直し、いじめ見逃しゼロの徹底のもと児童が安心できる環境設定	
② 確かな学力の育成【調布市教育プラン施策2】 ◎全教科を通して『主体的に学ぼうとする力』を目指す授業づくり（生きる力を身に付ける） ◆考えを発信できる楽しさ・分かる楽しさ、自分の学びを語ることができる環境へ（校内研究を通して） 児童の「やってみたい」を叶える授業づくり ◆個別最適な学び・・・自力解決の時間の確保、体験重視 児童一人一人に合った学びと学び方の授業づくり（一人一人のよさや可能性を見抜く指導力） 学期に1回以上実践、児童自身が決める・選ぶ、進める学習 一人一台のタブレットPCの効果的活用 言語活動の充実（学校図書館の活用推進）、言語環境の充実 ◆認められる安心感 話し合い〈対話〉の場の設定、地域社会・関係機関等への発信（コミュニティスクールの導入と地域学校協働本部との一体的推進）	
③ 健やかな体の育成【調布市教育プラン施策3】 ◆体を動かす楽しさ・心地よさ ちょこプラ1（ワン）調布の取組、外部機関との連携（ゲストティーチャー等の活用） ◆食育の推進、食物アレルギー疾患対応 ◆体力・運動能力調査、意識調査から児童の強み・弱みを把握した授業実践	
④ 個に応じたきめ細やかな支援【調布市教育プラン施策4】 ◆一人一人の教育的ニーズに寄り添う支援 校内委員会、たまがわ若木学級、特別支援教室、スクールカウンセラー、学校心理士、スクールソーシャルワーカー ◆保育園・幼稚園・中学校・関係機関担当者とのネットワークの活用 スタートカリキュラム、個別の指導計画、個別の教育支援計画（学校生活支援シート） ◆いじめ見逃しゼロ・SOS見過ごしゼロ ◆不登校新規ゼロ〈途切れない支援（欠席1日目から電話連絡、3日目以降は家庭訪問）〉 ◆たまがわ若木学級・特別支援学校との副籍事業における交流及び共同学習のより一層の促進	

⑤ 魅力ある学校づくりの推進【調布市教育プラン施策5】		
◆広報活動（学校 Web ページ、プレスリリース）		◆保護者・地域住民の方々の授業参画（ゲストティーチャー、サポーター）
◆コミュニティ・スクールと地域学校協働本部を一体的に推進し、地域の将来を担う児童の育成 ◆小中連携		
⑥ 資質能力の向上【調布市教育プラン施策1から6】		
◆校内研究・校内研修	◆週ごとの指導計画（週案）の活用	◆授業観察の充実（「授業観察の観点」の活用）
◆若手教員育成研修の充実	◆指導教諭・教育委員会実施研修	◆調布市小学校教育研究会
⑦ 学校組織力の向上【調布市教育プラン施策5】		
◆一部教科担任制（交換授業）の導入		◆職層に応じた職務の遂行、一人一人の取組の重点の共有・相互支援（自己申告書の活用）
◆危機管理体制の充実	◆服務規律の厳正、来校者への接遇	◆教員養成・人材育成への貢献（教育実習生、学生インターンシップ生）
⑧ ライフ・ワーク・バランス		
◆校務改善による働きがい改革 （スクール・サポート・スタッフ、副校長補佐、タイムマネジメント、最終退勤時刻、計画的な休暇「ポジティブオフ」、校務改善のアイデア募集）		
◆心身の健康保持・増進、健康診断結果の活用		
◆親睦会の充実		